

日本股関節学会股関節鏡レジストリー構築 に関する研究

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法、期間

- A) 目的：股関節鏡治療に関する大規模データベースの構築
- B) 方法：股関節疾患に対して股関節鏡を用いて手術を受けた患者さんのデータを匿名化の上、データ登録機関で情報をフォームに記入し、データセンターに郵送し登録
- C) 期間：研究機関長の許可日～2030年3月31日
情報の提供開始予定日：研究機関の長の許可日から1週間後
- d) 本研究のデータ登録機関、あるいはそれ以外の研究機関への情報等の提供：保存された情報等は他の医学研究等への利用を目的に提供されることがあります。日本股関節学会員又は関連学会員が、登録されたデータを利活用して医学研究を実施する際には、日本股関節学会理事会の意見を聞き、データ提供の可否を審査し、適切と判断された場合はこれを提供します。なお、データセンターに登録・保管された情報には研究対象者等の個人を特定できる個人情報を含みません。

2. 利用又は提供する資料・情報の項目

- A) 基本項目
施設名, 加工ID, 手術日, 患者生年月日, 生まれた場所, 患者性別, 術式, 身長/体重, 手術時間, 出血量, 麻酔時間, 牽引時間, 間歇的牽引, 術者氏名, 助手氏名, 看護師数, 技師数
- B) 患者
診断名, Tonnis Grade, JOA-0A病期, 同側既往手術, JHEQ Score, iHot-12, Vail hip score, JOA Score, modified Harris hip score
- C) X線計測 (術前 臥位)
LCE角, Acetabular Roof Obliquity, Alphas Sharp角, VCA角, femoral neck shaft角, femoral version, acetabular version, Cross over sign, Pistol grip 変形, Herniation pit, Shenton line break, Congruency, AIIS type, Os Acetabuli
- D) 手術手技
手術側, 牽引台の種類, 手術体位, 術式, 合併術式関節内処置, 使用したアンカー, 関節唇修復方法, 使用ポータル, 灌流液量, 灌流方法, 関節包切開, 関節包修復, 関節包修復方法, 使用した糸, CAOSの使用, 関節内MAHORN 分類, 大腿骨頭靭帯, 関節窩状態, AIIS 処置
- E) 関節外処置
弾発股, 腸腰筋腱スナッピング, 中臀筋修復術, ハムストリング修復術, 坐骨神経, 坐骨大腿インピンジメント, 股関節滑液膜切除術
- F) 術後リハビリ
離床開始, 部分荷重開始, 全荷重開始
- G) 術後X線計測
LCE角, Acetabular Roof Obliquity, Alphas Sharp角, VCA角, femoral neck shaft角, femoral version, acetabular version, Cross over sign, Pistol grip 変形, Herniation pit, Shenton line break, Congruency, AIIS type, Os Acetabuli
- H) 周術期合併症(術後3か月間) (退院が1か月以内の場合、退院時と外来再診日に2度報告)

可能)

記載日, 再手術, 術式, 再手術理由, 股関節唇再断裂, 関節包再断裂, cam削り残し, 感染, pincer 削り残し, subspine削り残し, 神経障害, 灌流液extravasation, 皮膚障害、異所性骨化, DVT, 症候性PE, VTE予防法, その他

I) 転帰記載

記載日, Follow-up状況, Tonnis Grade, JOA-0A病期, Revision scope, 追加手術内容, THA, 追加手術 (THA以外), 追加手術内容, 合併症, 合併症内容

上記以外の手術は順次、関連学会 (日本整形外科学会、日本小児整形外科学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会等) と協議の上で追加

3. 利用する者の範囲

- A) 登録されたデータを利活用して医学研究を実施する際には、日本股関節学会が審査の上、日本股関節学会員又は関連学会員が利用する
- B) 登録されたデータを提供することに特段の理由があるとき、あるいは社会的に重要性の高い研究に用いられる場合に、日本股関節学会が審査の上で、他の営利団体、民間の機関に提供されることがある。

4. 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

- A) 一般社団法人 日本股関節学会
- B) 日本股関節学会股関節鏡レジストリー委員会 : 高尾正樹先生

5. 研究への利用を拒否する場合

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止します。

6. 5.の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

- A) 受付先 : 岡山大学 整形外科
700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 TEL: 086-235-7273
- B) 受付方法
直接お電話をいただくか、登録データ削除申請書をご送付ください。
その他ご不明な点がある場合は、上記受付先へお問い合わせください。

7. 研究組織

- A) 研究代表者 : 一般社団法人 日本股関節学会 理事 高尾正樹
- B) データセンター : 神奈川リハビリテーション病院 日本股関節学会股関節鏡レジストリー委員会 事務局
- C) 共同研究機関 : 東京慈恵医科大学 整形外科・藤井英紀
横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科・小林直実
枚方市民病院 整形外科・大原英嗣

産業医科大学若松病院 整形外科・内田宗志

神奈川リハビリテーション病院 整形外科・松下洋平

D) データ登録機関：機関名・責任者氏名は、URL：<http://hip-society.jp/>に記載

E) 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信